

ジャグラは一般財団法人日本情報経済
社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です



GS

No.792
2017
11



■ 巻頭企画 シリーズ POD活用先進企業を訪ねて

オフセット/デジタルのハイブリッド生産体制 小ロットから大ロットまでの頁物印刷に対応

オフセット印刷とオンデマンド印刷を併用

——(有)一粒社/愛知県支部

■ 特別企画

環境委員会が北海道札幌市の (株)プリプレス・センターを視察

——2016年 日印産連・環境優良工場表彰 奨励賞受賞企業

■ 連載・シリーズ

需要創出を考える④

『災害発生時安全行動キット』

——(株)野毛印刷社/神奈川県支部

■ お知らせ

第三代InDesignマイスター決定!

——栄光は大貫恵理氏(日経印刷(株))の手に 日経印刷二連覇成る

本誌 PDF 版をジャ
グラ HP で公開中
です。PDF 版は紙
媒体より約 1 週間
早い毎月中旬にご
覧いただけます。



なかむら通信

読者の皆様へメッセージ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。
会長の中村耀です。今月から毎月、
私が組合活動を通じて感じた想いを、
この場所でお伝えすることにします。

さて、先日、山梨で行われた関東
地方協議会の大会に参加してきまし
た。80 名が参加したとても立派な大
会で、運営に係ってくれた皆様には感
謝の気持ちしかありません。

特に現役世代の若い方々は、
日頃、自分の仕事をこなしながら、
運営の準備をしなければならず、大変
な負担になったと思います。ご苦労
いただいた方々に報いる方法はただ
一つ! 「参加すること」です。「たく
さんの人が参加して、彼らの喜ぶ顔
を見たい!」 そう思った関東地方協
議会の大会でした。

C・O・N・T・E・N・T・S

01 ジャグラコンテスト第3回InDesign
第三代InDesignマイスター決定!
—— 栄光は大貫恵理氏(日経印刷株)の手に 日経印刷二連覇成る

● 巻頭企画 【シリーズ】POD活用先進企業を訪ねて

02 オフセット/デジタルのハイブリッド生産体制
小ロットから大ロットまでの頁物印刷に対応
オフセット印刷とオンデマンド印刷を併用
—— 事例②:(有)一粒社/愛知県支部

04 POD WGが展示会&ショールーム見学会を開催

● 特別企画

06 環境委員会が北海道札幌市の
(株)プリプレス・センターを視察
—— 2016 年 日印産連・環境優良工場表彰 奨励賞受賞企業

● 連載・シリーズ

24 需要創出を考える④
一般社団法人 神奈川県トラック協会様向け
『災害発生時安全行動キット』
自社オリジナル商品を特定の業種に向けて企画提案
—— (株)野毛印刷社/神奈川県支部

● NEWSとお知らせ

10 日本自費出版文化賞の募集を開始
18 ジャグラ事業の進捗状況
23 企業情報
26 現在、鋭意制作中!『エジソンを超えて』
—— ジャグラのルーツ、謄写印刷を紹介するガイドブック
27 業界の動き
ジャグラ 10.1 運営基盤戦略会議ひらく
行政情報 11月は下請け取引適正化推進月間です
29 ジャグラBB HOTNEWS

08 コラム
13 新年名刺広告大募集
15 ジャグラ情報チャンネル
17 法親会
22 書籍案内
28 ジャグラ スケジュール表

JaGra Contest InDesign

ジャグラコンテスト第3回 InDesign

第三代InDesignマイスター決定!

栄光は大貫恵理氏(日経印刷株/東京千代田)の手に 日経印刷二連覇成る

「ジャグラコンテスト第3回 InDesign」の第1次審査
上位得点者から選出された上位11名による第2次審査実
技試験が、去る10月14日、ジャグラ会館にて実施され、
厳正なる審査の結果、日経印刷株(東京千代田支部)の
大貫恵理氏が第三代 InDesign マイスターに輝きました。
昨年の第2回コンテストで同社・戸田大作氏がマイスター
を獲得しており、同社の二連覇となりました。



理の課題が出題されました。受験者は見る者を圧倒するほ
どの集中力と判断力で黙々と課題制作に取り組み、本コン
テスト応募総数143名の頂点に輝く真のファイナリスト
にふさわしい猛者が集結していることを実感させる実技試
験となりました。

コンテスト総合順位は、第1次審査(456点満点)と
第2次審査(138点満点)の合計点で競われ、その結果、
第1次2位/第2次1位の得点をマークした東京千代田
支部・日経印刷株の大貫恵理氏が、総合順位1位に決定、
第三代 InDesign マイスターの栄光を手に入れました。

第2次審査と総合順位

第1次審査上位得点者から11名が選出され、10月
14日、東京のジャグラ会館・DTPスクールで第2次審
査がおこなわれました(写真)。

第2次審査では現場とは異なる環境下において、120
分の時間制限を設けた実技試験という厳しい条件のもと、
A4縦/4C/2ページの雑誌紙面の修正およびデータ処

InDesign Meister

1位
日経印刷株(東京千代田)
大貫 恵理
525点=405+120*



2位
陽光社印刷株(福島)
富永 朋子
517.5点=426+91.5



3位
(株)サンワ(東京千代田)
西野 学
497.5点=386+111.5



その他入賞者(第1次審査得点順)

電算印刷株(長野)
加々美真絹



(株)北斗プリント社(京都)
清水 利恵



大村印刷株(会員外)
渡邊 陽子



(株)東北プリント(宮城)
渡部 高志



(株)ニシキプリント(広島)
伊勢川 綾



(株)ニシキプリント(広島)
大石 理恵



電算印刷株(長野)
百瀬喜久美



(有)めぐみ工房(新潟)
津端 優



*合計得点=一次審査得点+二次審査得点

Finalist Top10

……………シリーズ：POD活用先進企業を訪ねて……………

オフセット/デジタルのハイブリッド生産体制 小ロットから大ロットまでの頁物印刷に対応

～オフセット印刷とオンデマンド印刷を併用～

Report

事例②：(有)一粒社/愛知県支部

ジャグラ教育・技術委員会（熊谷正司担当副会長 / 宮崎真委員長）では、会員企業で導入の進むデジタル印刷機活用のため、PODワーキンググループ（原田大輔リーダー）を組織して調査研究を進めていますが、その活動の一環として、本誌上においてPOD活用先進企業の紹介をしています。第二弾は愛知県支部・(有)一粒社さんの活用事例です。

（取材・文：ニュープリンティング㈱・菅野孝市専門委員）

×

オンデマンド機の導入は約20年前

愛知県半田市の(有)一粒社は、1948年3月、謄写印刷業として創業。以来、頁物を主体に受注し、組版から製本までの一貫生産体制に磨きをかけ続けている。従業員は正社員が23名、パートが7名。『平成29年度ジャグラ作品展』では、同社が手掛けた写真集『北アルプス 魅せられた山々 小林良生写真集』が出版印刷物部門の経済産業大臣賞を受賞しており、その技術力は顧客から高く評価されている。

同社がモノクロオンデマンド印刷機の富士ゼロックス DocuTech 135を導入したのは約20年前。愛知県下でオンデマンド印刷機を導入した2番目の印刷会社だった。しかし、当初は全く動かなかったという。



一粒社の宮原健太郎社長

同社の宮原健太郎社長は「愛知県でも導入が早かったの、噂を聞いた同業他社から、電動工具メーカーへ製品マニュアルを毎日納品して欲しいという依頼がありました。下請でしたが、それが当社とオンデマンド印刷機がマッチングした瞬間です」と振り返る。

今でもその仕事は続いている。製品ごとに毎日、在庫レスで異なる部数を納品するため、オンデマンド印刷機でなければ対応が不可能だった。トヨタ生産方式を採用する電動工具メーカーにとって、マニュアルは部品の一部。決められた数を間違いなく納めることが求められる。多くても少なくてもいけない。もし、製品を箱詰めした後に、納入されたマニュアルが一冊でも余れば、マニュアルが入っていないロットが発生したことが判るためである。

現在、POD機はモノクロ2台、カラー4台が設置されている。オフセット印刷機はA3縦通し両面1×1機が2台、A2判単色機1台、A2判片面機2台。3年ほど前までは菊四裁オフセット4色機も稼働していたが、30歳代のオペレーターの退職により破棄を決定した。

「もともとシビアなカラー印刷の需要があまりなかったのが、オンデマンド印刷機に移行できた要因でした。官公庁2割、同業他社・一般企業・個人が8割の売上構成比は変わりませんが、商品構成はかなり変わっています」（宮原社長）

2008年のリーマンショック後の世界的な景気後退でチラシの需要は激減。地元の小売店や個人経営のサービス業がIllustratorで印刷データを作成し、印刷通販でチラシを調達することも多くなった。同時にオンデマンド印刷機でチラシを印刷するケースが増加。無理にオフセット4色機を稼働させる必要性が薄く



オンデマンド印刷機は6台設備



オフセット印刷機は5台設備



同社が手掛けた自費出版物の数々



チケット等ではバリエーション印刷も

なった。

減少したチラシの売上げを補完したのは自費出版印刷だった。チラシの場合、ロットが大きくなれば外注していたが、自費出版印刷は小ロットなので基本的に社内でオンデマンド印刷機の生産となる。頁物でも丁合がいらないので、後加工の外注加工費が下がり、内製化率が向上。売上構成が変わったことで結果的にオンデマンド印刷の比率が高まり、オフセット印刷機と同数のオンデマンド印刷機が稼働する形になった。

4台のオンデマンド印刷機が稼働するフロアには中綴じ機がニアラインで設置されている。このフロアのオペレーターは2名。オンデマンド印刷機で出力しながら中綴じ機を操作する。頁物に関しては仕上がりがA5判の場合、A3に4丁付けしてページ順に出力して断裁。丁合の工程が省かれたため、丁合機への乗せ違い等で発生する乱丁のミスがなく、少ない人員でも効率よく生産することができている。

将来も二刀流でいきたい

オフセット印刷とオンデマンド印刷は基本的に200

部のラインで使い分ける。頁数が多い場合は200部以上でもオンデマンド印刷を利用する。ただ、宮原社長は顧客に直接接する立場から「自分もオフセット印刷機を扱っていましたが、頁物の版が続くと取り違えや濃淡の違い、汚れに気が付かなくなりがちなのが分かっています。オペレーターの技量に依存するオフセット印刷は、品質にバラツキがあるので、目で入念に検査する必要があります。オンデマンド印刷では基本的に乱丁がなく、品質も安定しているので、少しでもオンデマンド印刷機でいこうと判断することもあります」と語る。

官公庁の決算・予算書の印刷では見開きにまたがる表の上部が、右と左のページで合わせなければならぬため、オフセット印刷が指定されることもある。ただ、オンデマンド印刷機で出力した際に、ノンブルの位置が裏表で多少ずれていたとしても発注者からクレームが寄せられることはない。むしろ、納期が短くても応じてもらえるという認識が顧客に広がり、オンデマンド印刷機の需要は年々上昇している。

ただ、宮原社長はオフセット印刷が現状、不要になると考えていない。「オフセット印刷でも、部数が少

なく表紙がカラーになる場合は、オフセット印刷で本文を、オンデマンド印刷で表紙を印刷します。受注価格や納期、品質の要求レベルによって使い分け、または併用することで顧客のニーズに柔軟に対応することができる。2つの印刷方式を持つことが頁物印刷で営業のプラスになることを肌で感じているのである。

菊四裁オフセット4色機を廃棄する直前、宮原社長は「菊半裁機もいらないと思っていました。廃棄する時も本当にこれでいいのかと。4色機は印刷会社にとってステータスにもなりますから。しかし、何千万円もする機械に投資するのは現実的な選択でないと考えました」という。オフセット4色機を破棄する時は営業担当者が戸惑うこともなかった。

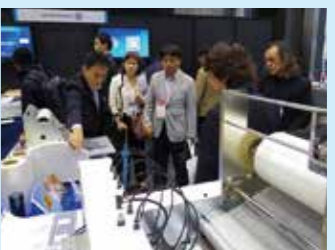
モノクロ主体の頁物印刷が、カラー物印刷のように全面的にオンデマンド印刷機に切り替わらないのは内製化できる部数の上限と下限の差があるためである。「営業戦略で重視するのが頁物です。社内で数十部から数千部まで印刷できますし、後加工もあるので付加価値が高い商品です」というように、大部数を受注す

ると外注に頼らざるを得ないチラシと違い、数千部まで内製化できる頁物印刷は同社の収益の柱となっている。

宮原社長はオンデマンド印刷の需要が伸びている背景として、短納期ニーズを挙げる。「社会が動くスピードが速くなっている中で、印刷物も同様に早く手に入りたいというニーズが出てきているのだと思います。社会全体が労働人口不足で1人当たりの負担が増えて、印刷物を作るという副次的な業務の時間が足りなくなっています。教育機関も同様です」。

そうした中、宮原社長は設備戦略をどう考えているのか。「機械がどうこうという話よりも、お客様のニーズに応える上で、今の時点で必要なもの」。その上で、「私としてはオフセット印刷とオンデマンド印刷の二刀流でいきたいと思っています。オンデマンド印刷でこなせる量には限界がありますし、全判機とオンデマンド印刷機の間を埋める市場があると実感しています。単色機自体の生産が乏しくなっていますが、オフセット印刷機への投資もあり得ます」と展望している。

大塚商会
POINT2017 展
東京・秋葉原



左から原田リーダー、山下氏



ダーツ / 東京

研美社 / 東京

みやもと / 栃木

東京グラフィックス

コニカミノルタ
ジャパン
デジタルイメージングスクエア
港区芝浦



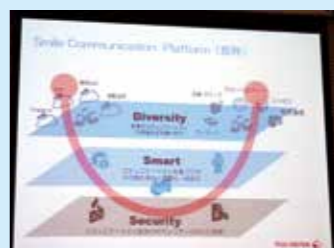
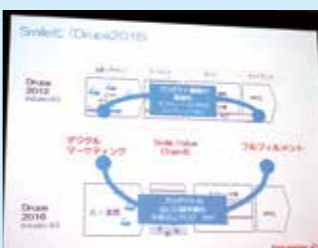
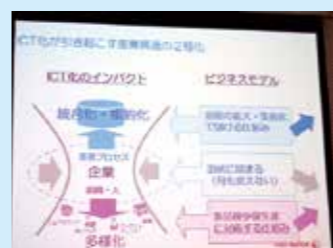
セミナーの様子



富士ゼロックス
お客様価値創造センター
横浜・みなとみらい



セミナーの様子



宮崎理事も一言

懇親会
横浜・金香楼



10.13 POD WGが展示会&ショールーム見学会を開催

ジャグラ POD ワーキンググループ（原田大輔リーダー）は、10月13日に大塚商会 POINT2017 展、コニカミノルタ、富士ゼロックスのショールーム見学会を開催し、20名余りが参加しました。

×

当日は午前10時20分、大塚商会 POINT2017 展の会場である秋葉原 UDX に集合。受付を済ませ、ライター・レイターの山下潤一郎氏によるガイドツアー形式で POINT2017 を見学しました。山下氏による業界のトレンド情報を織り交ぜた解説で、参加者は各メーカーの最新機器・サービスをより深く理解することができました。

メーカーブースを見学した後、東京グラフィックスの出展ブースやジャグラ会員企業の出展ブースを見学。(株)ダーツ（東京文京）のブースではおなじみの缶バッジ製作体験を、(株)研美社（東京中央）のブースでは顔写真入り ID カードの制作体験を行っていました。また、(株)みやもと（栃木）のブースでは、オリジナルキャラクターである「百目鬼（どうめき）」による街

活性化事業（平成29年度宇都宮市民シティープロモーション支援事業）の紹介をしていました。

昼食を挟み、用意したバスで、港区芝浦にあるコニカミノルタジャパン(株)・デジタルイメージングスクエアに移動。「POD 運用向上に向けて」と題した POD 機活用状況の変遷についてのセミナーを受講し、その後、同社ショールームにて、最新 POD 機器のデモンストレーションを見学しました。

その後、参加者はバスで横浜みなとみらいに向かい、富士ゼロックス(株)お客様価値創造センターで、「IoT時代の印刷ビジネス」と題したセミナーを受講し、その後、一行は2班に分かれ、価値創造センターツアーと称して、「地方創生&海外事例紹介」「パイロットファクトリー統合ワークフロープレゼン」「新製品 ProductionPress のデモンストレーション体験」を行いました。

その後、懇親会が横浜中華街「金香楼」にて行われ、見学会は盛況に終えることができました。

(取材・文：事務局/今田)

環境委員会が北海道札幌市の (株)プリプレス・センターを視察

2016年 日印産連・環境優良工場表彰 奨励賞受賞企業

ジャグラ環境委員会（尾形文貴委員長）は、先頃、2016年度の日印産連・環境優良工場表彰において奨励賞を受賞した北海道札幌市の(株)プリプレス・センター（藤田靖社長）を訪問し、同社の環境対応を視察しました。

※なお、視察の様子はジャグラBBでも配信を予定しています。



懇談する皆さん（円内：藤田社長）

LED 照明

オンデマンド機は複数台設備している

社是に環境対応を明記

4色オフセット印刷機も設備している

オフセット作業手順書

溶剤置場

分別は徹底している

5Sの徹底を促す社内掲示

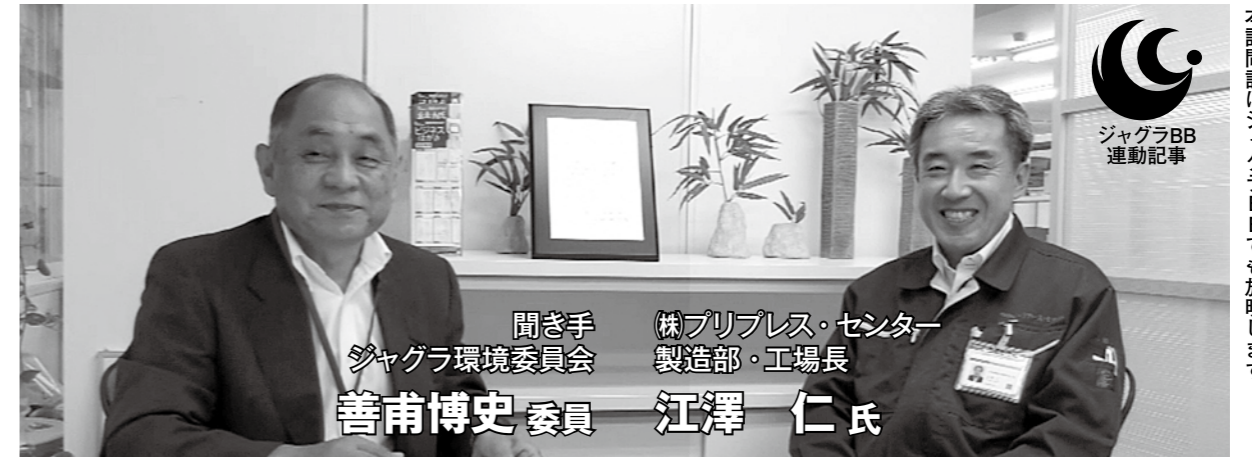
5Sの徹底を促す社内掲示

品質維持ルール 第3版

分別は徹底している

5Sの徹底を促す社内掲示

InterView



本訪問記はジャグラBBでも放映します

—本日は2016年に日印産連の環境優良工場表彰において奨励賞を受賞された、北海道札幌市の(株)プリプレス・センターさんにお伺いしました。同社製造部の江澤工場長に、同社の環境対応についてお聞きします。よろしくお願ひします。

■江澤 こちらこそよろしくお願ひします。

—まず始めに、プリプレス・センターさんのご紹介をお願いします。

■江澤 弊社は、お客様のご要望に対応する商品印刷およびパッケージ部門、カレンダーや年賀状などを企画販売する商品企画部門、デザインやプログラミング・Web制作などを行う制作部門など、お客様の成長に必要な印刷物の企画制作から情報発信にいたるまで、ワンストップで事業展開しています。

—御社は2016年に環境優良工場表彰、奨励賞を受賞されていますが、応募しようと考えたきっかけについて教えてください。

■江澤 弊社工場の環境への取組みについて、第三者による評価確認のためです。もちろんジャグラさんに後押しされたのもきっかけとなりました。

—環境対応を推進するための組織は構築されましたか？

■江澤 弊社はエコアクション21の認証を受けておりますので、以前から体制はありました。

—プリプレス・センターさんの環境対策のテーマと特徴について教えてください。

■江澤 いわゆる「紙・ゴミ・節電」や法規制を守るのは当然ですが、本業である「印刷」に即した活動がもっとも重要と考えております。

—環境対策を推進するうえで、一番苦労したことは何ですか？

■江澤 2004年から環境活動を本格的に推進し始めたの

ですが、その際、環境に関する法規制について、当社の状態が適正なのかを調べることに苦労しました。

—環境対応はお金にならないという意見も聞きますが、御社が環境対応によって得られたメリットは何ですか？

■江澤 お金のことで言いますと、廃棄物や資源物をキチンと分別することによって、廃棄にかかっていた費用が削減できました。またエコアクション21の認証を受けていたり環境活動を推進していたことが、取り引きにつながったこともございます。

—環境優良工場表彰に応募する際の書類（応募票）で、一番アピールした点は？

■江澤 本業に即した目標ということで、印刷ロスの削減を目標に掲げて、省資源・省エネに取り組んでいることや、化学物質などが含まれている溶剤の管理などをアピールしました。

—応募票を記入するに当たって苦労した点、難しかった言葉や内容はありましたか？

■江澤 環境活動を以前から続けていましたので、基本的なデータについては普段からの記録がありましたから、混乱を極めるようなことはありませんでしたが、いかに簡潔に分かりやすく記入するかについては、若干苦労しました。

—環境対応を始めたいと考えているジャグラ会員へのアドバイスをお願いします。

■江澤 初めから高い目標を設定しなくてもいいと思います。目標が高すぎると社員の士気が上がりにくいのではないのでしょうか？ 費用的にもできることから地道に進めて、徐々にステップアップすればいいと思います。一番大事なのは、環境対応を一過性の活動にせず、継続させることだと思います。

—継続は力なりということですね。本日はどうもありがとうございました。

(株)プリプレス・センターさんを訪問して

環境委員会委員・露木貴弘

環境委員会では毎年、環境に取り組む企業を訪問しています。今年は、2016年に日印産連の環境優良工場表彰の奨励賞を受賞した、北海道札幌市の(株)プリプレス・センターさんを視察訪問しました。

会社視察予定の前に石屋製菓(株)白い恋人パーク工場を見学。北海道土産でおなじみの名菓「白い恋人」が、目の前で次々パッケージされる様子に目を奪われました。

その後、(株)プリプレス・センターさんを訪問。藤田社長からのレクチャーと社内見学をしたのち、江澤工場長にインタビューを実施しました。同社は早くから地球環境の負荷を最小限に抑えながら、サステナブルな製造体制を構築し、社会に貢献することを目標に活動してきたそうです。

会社事業が排出するCO₂を測定、一部相殺する形で新規植林するカーボンオフセットを実施、「美幌町の森」を社員が定期的の下草刈りするなどの森林管理を進めていま

す。その森林認証材をデスクや壁材、書庫などに活用した社内は、常に環境を意識した、オシャレで仕事がしやすい、心地よい空間になっていました。

視察を終え、渡辺北海道支部長も交えての懇親会では北海道海の幸に舌鼓を打ち、皆で印刷談議に花を咲かせました。藤田社長から「北海道流甘エビの美味しい食し方」のレクチャーを受け、それが今回の視察で私的には一番印象に残りました(笑&汗)。

藤田社長をはじめ、(株)プリプレス・センターの皆様、ご協力をいただきありがとうございました。

なお、この視察の様子は機関誌およびジャグラーBBで紹介されますので、ぜひご覧ください。



Column

マンガをスマホ画面に最適化して、世界へ発信する

e-中小企業ネットマガジンVol.798より転載

養 老孟司さんの右脳・左脳とマンガに関する説が、このアイデアを思い付くきっかけになった」。パルソラ(東京)の三宅克社長は、同社が立ち上げた『コミックノベル』の原点を、そう説明する。コミックノベルとは、スマートフォン専用のマンガ。スマホの小さな画面でも読みやすいように、絵と文字が1コマに収まる通常のスタイルではなく、両者を分離し、絵だけ、文字だけのコマを基本に全体を構成する。「新しい革袋には新しい酒。スマホへの最適化を図り、スマホの破壊的変革力に乗っていく」(三宅社長)との取り組みは、変貌するメディア×コンテンツの1コマとしても興味津々だ。

同 社は2015年に三宅社長が設立した。三宅社長は大手出版社で昭和40年代からマンガ雑誌の企画・編集に携わり、大学のマンガプロデュース科で若手クリエイターを育成した経験もある、その道のプロ。「テレビが登場した時、映画人たちはあんな小さな画面で何ができるかと冷笑した。結果はご存知の通り。紙の時代から、パソコン時代、そしてスマホ時代へと移行した今にふさわしい活字表現を世界に発信しようと起業した」(同)。

脳 科学・解剖学者の養老氏は、欧米人はマンガを読むのが苦手との説を唱えた。漢字圏の人は絵文字である漢字と表音文字とを、右脳と左脳で同時処理する訓練ができてい

絵と文字を一瞬で同時処理するのは不得手、との見解である。8年ほど前、養老説を知った三宅社長は「世界に冠たるマンガ文化だ、と業界が息巻いていた時期だけにショックを受けた。しかし、売り上げ的に裏付ける事象が多くて、それならば、と文字と絵を分けるアイデアに思い至った」と振り返る。

絵 と文章がコラボ、見やすい、サクサク読める、隙間時間も楽しめる……。テキストページと挿絵ページで構成し、1コマの文字数はツイッターと同じ140文字以内とするコミックノベルの特徴を、同社ではそう表現している。養老説を振り所に、海外にも打って出る計画だ。また、コミックノベルのネーミングが表わすように、マンガのほか小説や詩歌の趣も持つ、既存カテゴリーに収まらない「新表現」であるため、スマホを介した連載・連作といった新しい創作活動も行える、としている。

マ ンガ雑誌も他の紙媒体と同様に衰退の一途をたどっている。長年、マンガと深く関わってきた三宅社長は「出版界の紙への執着が作家と作品を滅ぼす。勝機は脱プリントメディア。すべてはスマホの中にある」との思いから67歳で起業する。「周りに若い優秀な人がいっぱいいて支えてくれる。彼らは私の年齢を逆手に取り、ロートルを『売り』にしよう、からかっている」と内輪話も披露する団塊世代・現役社長は、まだまだ挑戦し続ける。



第21回 日本自費出版文化賞の募集を開始!

募集期間は11月1日～来年3月31日です

ジャグラが主催しNPO法人日本自費出版ネットワーク(中山千夏代表)が主管する日本自費出版文化賞については、今年度、第20回目の大賞として林照さんの『シベリア(三部作)』を選出したことを、先月号でお知らせしましたが、既に第21回目の募集が11月1日より始まっています。皆様奮ってご応募ください。

×

自費出版の再評価・活性化を目的として実施

毎年おおよそ数万点の書籍が発行され市場に流通しています。そして大きな流通ルートに乗らない、いわゆる自費出版物といわれる書籍も同じだけ発行されているといわれています。自費出版物は、流通する一般書籍と並ぶ出版文化の重要な位置を占め、これらの中には貴重なものも多くあります。ところが著者の労苦が報われることはきわめて少ないのが現状です。「日本自費出版文化賞」は、自費出版HPによる自費出版データの蓄積・公開活動と連動しながら、自費出版に光を当て、著者の功績を讃え、かつ自費出版に再評価、活性化を促進しようとするものです。

応募資格

制作費用の全額または一部を著者(個人・団体)が負担し、日本国内で最近10年以内に出版され、主として日本語で書かれた一般書で、製本された著書が対象。著者の国籍は問いません。一般書とは、一般の人が理解できる内容の書籍を指し、特定の専門的な内容の著書については審査できないことがあります。

スケジュール(予定)

- ①募集開始 2017年11月1日
- ②締め切り 2018年3月31日
- ③一次選考 2018年4月～6月
- ④二次選考会 2018年7月:最終選考会候補作品決定

- ⑤最終選考会 2018年9月予定
- ⑥表彰式 2018年10月予定

登録(応募)について

- ①いわゆる協力出版あるいは共同出版という方法も実際には製作費用を著者がほとんど全額負担しているもので、上記応募資格の範囲に入ります。
- ②定価のついていない(いわゆる非売品)も該当します。
- ③ISBNコード(国際図書流通コード)の有無にかかわらず、応募できます。
- ④発行者(所)、印刷所は日本国内であれば資格・所属を問いません。
- ⑤書籍単位ですので、違う書籍であれば(著者が同じ場合でも)何冊でも応募できます。
- ⑥過去にこの文化賞に応募した書籍を改めて応募(再応募)することも可能です。ただし、既にこの文化賞で表彰(入選・入賞)されている場合はご遠慮ください。
- ⑦短編集など複数の作品で1冊を構成している場合も書籍単位なので、短編集全体の審査となります。
- ⑧複数巻になる作品の場合も基本的に1書籍(冊)=1作品です。実際には上下巻や複数巻全体で評価する場合がありますが、選考委員会にご一任願います。登録費用も基本的に1冊で1作品としていただきたいと思います。
- ⑨電子出版のみの発行物は審査対象外です。プリントして仮製本(あるいは簡易製本)をしたものは応募可能で、審査も公平に行います。
- ⑩文芸同人誌などで出版費用を寄稿者が分担している雑誌も応募できます。ただし、雑誌全体の内容、コンセプトが評価されます。雑誌の中の特定の作品だけを評価してほしい場合は、その作品のみ別刷りなどして製本(仮製本でも可)し、1作品として応募すれば1冊の書籍として評価します。
- ⑪翻訳書について=翻訳・出版した書籍自体が主として日本語で書かれたものであれば応募・審査とも可能です。第16回の文化賞で『アフリカ詩集』が受賞しています。

逆に、原作が日本語でも、翻訳・出版した書籍が外国語であれば、応募はできますが審査は行われないとお考えください。

募集部門

- ①地域文化部門 郷土史、地域誌、民俗記録、地域人物伝、記念誌等
 - ②個人誌部門 自分史、一族史、追悼集、遺稿集、旅行記、趣味等
 - ③小説部門 小説、童話など散文で書かれた物語形式の文芸
 - ④エッセー部門 随筆・随想など散文で書かれた小説以外の文芸
 - ⑤詩歌部門 現代詩、俳句、短歌など韻文で書かれた文芸
 - ⑥研究・評論部門 研究(人文/歴史/法律/経済社会/理工他)、評伝、評論等
 - ⑦グラフィック部門 画集、写真集、絵本等
- ※選考委員会の判断で、部門を変更する場合があります。ご了解ください。

選考委員

- 色川大吉(歴史家) 鎌田 慧(ルポライター)
- 中山千夏(作家) 秋林哲也(編集者)
- 佐藤和夫(哲学思想研究者) 藤野健一(編集者)
- 小池一子(クリエイティブ・ディレクター)
- 成田龍一(大学教授)

応募方法

- ①所定の応募用紙に必要事項を記入し、応募著書1冊と共に郵送または託送してください。応募著書は返却できません。応募受付の連絡を希望する方は必ず官製はがきにご自身の宛名を記入して同封してください。
- ②日本自費出版文化賞応募には登録手数料2000円(1点)が必要です。
- ③インターネットで直接申し込むこともできます。専用フォームから情報を送信し、その上で、「登録手数料」や「ホームページ登録料」(登録した場合)を郵便振替でお支払いください。



表彰について

- ①大賞 賞状ならびに賞金20万円(1点)
- ②部門賞 賞状ならびに賞金5万円(各部門1点)
- ③特別賞 (各部門1点、協賛各社賞) 賞状ならびに記念品
- ④入選 賞状(各部門10点程度)

発表

入選、部門賞、特別賞、大賞は、最終選考委員会終了後、記者会見の席上にて発表します。また、「朝日新聞」紙上やジャグラ機関誌、自費出版ホームページ等のメディアに掲載します。入選、入賞作品は、応募締切の年の10月に開催予定の表彰式(自費出版フェスティバル)内および関連するイベントなどで展示公開します。

申込先、応募著書・応募用紙送り先

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
日本自費出版文化賞事務局
電話 03-5623-5411 / ファクス 03-5623-5473

本誌1月号 新年名刺広告大募集 申込締切12.8金

ジャグラの機関誌『グラフィックサービス』では、1月号誌上において恒例の新年名刺広告を実施します。
 なお、地協・支部よりの出稿につきましては、掲載料金が割引となりますので、ぜひご利用ください。

◎掲載料金

1コマ/縦組 60×42ミリ ¥ 8,000 (税込¥ 8,640) →支部・地協 ¥ 5,000 (税込¥ 5,400)
 2コマ/横組 60×87ミリ ¥13,000 (税込¥14,040) →支部・地協 ¥10,000 (税込¥10,800)

◎申込方法 本紙に必要事項をご記入の上、下記宛ファクス(又は郵送)してください。



グラフィックサービス(株) 代表取締役社長 日本太郎 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階 TEL 03(3667)2271 FAX 03(3661)9006	標準パターン見本	グラフィックサービス(株) 代表取締役社長 日本太郎 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階 TEL 03(3667)2271 FAX 03(3661)9006
---	-----------------	---

「グラフィックサービス」新春名刺広告申込書

申込日 2017年 月 日

社名	フリガナ	担当者名	フリガナ
住所	〒		
Tel	Fax	E-mail	
体裁	<input type="checkbox"/> 1コマ <input type="checkbox"/> 前年通り (既出稿者) ←修正ある場合は前回版下に赤字を入れ、貼付してください <input type="checkbox"/> 2コマ <input type="checkbox"/> 標準パターンでOK (新規出稿) ←新規申込みの場合は、下記枠内に原稿をご記入ください <input type="checkbox"/> 版下データ支給 (独自デザイン) ←本申込書とデータをメール添付にてお送りください		

広告原稿はこちらにご記入ください

上記、標準パターンで申し込む場合は、
 右枠内に原稿をご記入ください。

連名、本店/支店、Web、ロゴ使用等、
 独自デザインをご希望の場合、
 完全版下データをご支給ください。
 (PDFデータをお願いします)

社名	_____
肩書き・氏名	_____
住所	〒 _____
TEL	_____
FAX	_____

【申込み先】 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 名刺広告係 (酒井)

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 tel.03-3667-2271 fax.03-3661-9006

※版下データはメール添付にて edit@jagra.or.jp 宛お送りください

ジャグラ|情|報|チ|ャ|ン|ネ|ル|のご案内

ジャグラは各種情報チャンネルを利用して会員の皆様に情報提供しています。基本は毎月皆様のお手元に郵送する本誌『グラフィックサービス』ですが、教育・技術/経営セミナーなどの情報提供は動画サイト「ジャグラ BB」が充実しています。また、最近では Twitter や Facebook などの SNS も活用して情報発信していますので、ぜひ一度、ご覧になってみてください。

	媒体名 / 更新頻度	内 容	関連 SNS / その他
機 関 誌	グラフィックサービス 【月1回】	ジャグラの総合情報誌 ①ジャグラからの情報・お知らせ全般 ②「紙媒体」と「電子版」で提供	●紙媒体 毎月下旬、会員宛に郵送 ●電子版 (PDF) 毎月中旬、ジャグラ公式 HP で公開 (誰でも閲覧可能)
公 式 H P	 【随 時】	ジャグラの公式サイト ①各種情報、お知らせ、アーカイブ、申請書式など ②機関誌の発行サイクルでカバーできない情報については本 HP でご案内します https://www.jagra.or.jp/	● Twitter https://www.facebook.com/jagra1955/ ●メルマガ 現在準備中
動 画 サ イ ト	 【随 時】	印刷業のための動画サイト ①教育・技術番組 / 経営セミナー / 企業レポート・経営者インタビューなど ②ジャグラ会員は ID 登録により全番組が視聴できます https://www.jagrabb.net/	● Twitter https://twitter.com/jagrabb ● YouTube https://www.youtube.com/user/jagrachannel
公 式 ス ク ー ル	JaGra プロフェッショナル DTP & Web スクール 【随 時】	ジャグラ直営スクールの公式サイト ①DTP、Web、ビデオの各種コースを開設 ②Adobe 認定スクール https://www.jagra.or.jp/school/	● Facebook https://www.facebook.com/JaGraSchool/ ● Twitter https://twitter.com/jagra_school ●ブログ http://jagraschool.hateblo.jp/
特 設 サ イ ト	年賀状デザインコンテスト 【随 時】 ジャグラコンテスト InDesign 【随 時】	https://www.jagra.or.jp/nenga2018/ http://jagra-contest.com/	● Facebook https://www.facebook.com/jagracontest/
F A X ・ D M ・ E メ ー ル	   【随 時】	機関誌や公式 HP で 間に合わない緊急情報などは、 FAX・DM・Eメールでご案内します	
メ ル マ ガ	メールマガジン 【月1回予定】	ジャグラ BB を中心とした情報を発信	受信には「ジャグラ BB」サイトにて、ID 登録が必要です
そ の 他	日本自費出版ネットワーク 【随 時】	自費出版のポータルサイト http://www.jsjapan.net/	NPO 法人日本自費出版ネットワークが運営しています



**会費値下げで
一層ご利用しやすくなりました**

5万円/年 → 2万円/年

取引先との
トラブルを、
解決したい！

基本契約書の
内容チェック
どうしよう？

個人情報保護
の覚書って、
どう書くの？

専任弁護士を
雇う余裕は
無いしなあ…

法律相談ネットワーク ほうしんかい
「グラフィックス法親会」のご案内

皆で入ろう、困った時のために！ いつでも気軽に相談できる、皆の法律専門家！

何かと相談事・悩み事の多い時代を迎えています。特に最近では経営上の係争が多く発生していますが、このような問題に直面したとき、気軽に相談できて、アドバイスをもらえる「顧問弁護士」が身近にいればなにかと心強いものです。しかし顧問弁護士料は普通最低でも50万円以上（年額）かかるといわれており、中小企業にとってその費用捻出は非常に困難です。

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」は、「会費制によって、いつでも相談にのっていただける身近な顧問弁護士を持つ」というジャグラー会員有志のグループです。現在、専任としてお願いしている今西一男弁護士は、印刷業界に造詣が深く、これまでも様々なご相談に対応していただいております。経営の難しい時代、身近な法律相談ネットワークとして、出来るだけ多くの仲間に参加していただき、この会を育てていきたい所存であります。つきましては入会のご案内を申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。



法親会・会長 添田隆男 (株式会社サンライズ / ジャグラー18代会長)

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」の概要

- | | | |
|--------|---|--|
| ● 専任 | 今西一男 弁護士 | ● 事務代行（入会申込先・問い合わせ先） |
| ● 会費 | 20,000円/年（税別）
※年度途中入会は月割換算（年度末12/31） | 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会・事務局
東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001
電話 03-3667-2271
ファクス 03-3661-9006 |
| ● 会員特典 | ① 無料相談（随時）
※ 遠方の場合は電話・ファクスで対応
② 情報交換会（適時開催） | |

入会申込書

申込日 20 年 月 日

fax.03-3661-9006

フリガナ 社名		フリガナ 氏名	
住所	〒		
Tel	Fax	E-Mail	

GS

11

No.792
2017

月刊
グラフィックサービス

ジャグラー事業の進捗状況

本年4月以降の状況をお伝えします

※11.10-11 全国協議会での配布資料をベースに編集部にて作成したものです
※上記資料のうち、本誌既報分は省略しています

●運営基盤戦略会議

5月26日と10月1日に会議を開催し、11月の全国協議会の内容について検討した。

●総務

◎総務・財政

- 1) 会館運営：ニッケイビル空室の三階は引き続き募集をし、見学は多数あったが、成約には至らなかった。
- 2) 公益法人改革：公益目的支出計画実施報告書の記載修正
ジャグラーは、平成26年4月1日より一般社団法人日本グラフィックサービス工業会として活動している。これに伴い、毎年度終了後、内閣府に所要の報告をしているが、平成28年度公益目的支出計画実施報告書は、定時総会終了後の平成29年6月28日に報告したが、8月に報告書の修正の指導があり、修正を完了した。(会計には変更はない)

◎組織拡大

- 1) 組織拡大の目標：5月26日の運営基盤戦略会議において、平成29年度の組織拡大目標は900社とし、あわせて運営基盤戦略会議の出席者一人ひとりが会員拡大に取り組むことにした。
- 2) 組織拡大パンフ：組織拡大パンフは、東京グラフィックスと足並みを揃えて作成することにしていたが、現状、時間がかかっているため、従来の組織拡大パンフを修正し、9月に全支部に配布し、活用を呼びかけた。

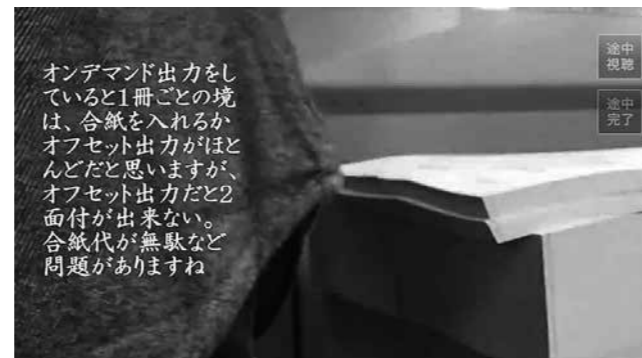
◎広報

- 1) 機関誌を定期発行している。印刷物（紙媒体）に加え、PDFによる電子版も併せて発行し、ジャグラー公式サイトにて公開している。
- 2) ジャグラーからは、機関誌、公式サイト、ジャグラーBB、DTP&Webスクール特設サイト、FAXやメルマガなどを使って情報発信を行っているが、それ以外にもTwitterやFacebook、YouTubeなども利用しているため、それを表形式に整理して、機関誌で紹介した。
- 3) ジャグラー公式サイトをリニューアルし、随時、ニュースやお知らせを掲載している。

●教育・技術

◎ジャグラーBB関連

- 1) 番組制作実績：4～7月で28本配信した。
- 2) 今後の番組予定
 - ①マーケティング委員会・事業承継座談会シリーズ
 - ②マーケティング委員会・クラウドセミナー（キャラバン）
 - ③影山史枝のビジネスに役立つエクセル講座シリーズ(続編)
 - ④影山史枝のビジネスに役立つワード講座シリーズ
 - ⑤ワザコレ！（会員投稿型番組）
 - ⑥印刷の“音”シリーズ（会員投稿型番組）



ちょっとしたノウハウが面白いと評判の『ワザコレ!』

◎ジャグラーBB企画部会

会議は月1回の頻度で開催。Facebook内に企画部会のグループを作成し、業務連絡および企画について進捗管理、内容の精査などを行っている。

- 1) サイト小規模改修：ジャグラーBBは4月にリニューアルし、10月にも小規模改修を行った。TOPページのランキング表示条件を過去1か月の視聴数順にすること、新着番組の表示については、使い勝手が悪かったため内部の仕組みを改善した。
- 2) PRについて：機関誌の「HOTNEWS」で、キャンペーン告知や新着番組情報を毎月掲載している。加えてメルマガの配信を開始したが、その普及のため、プレゼント企画を定期的に行っていく。第1回プレゼント企画は、ジャグラー本部近くの和紙専門店で見つけた素敵なグッズを、抽選で13名の方にプレゼントする。
- 3) 番組企画について：基本スタンスとして「印刷会社に勤め

る従業者向けのコンテンツ」を重視して番組企画を立てており、現在304本の番組を配信している。今後は、会員が動画を投稿するような参加型の番組も企画していく。会員参加型番組として「ワザコレ!」「印刷の音（仮）」を制作している。「ワザコレ!」は、現在3社より動画の提供を受けておりジャグラーBBで配信中である。視聴数ランキングにも乗る番組として好評を得ている。「印刷の音（仮）」は企画中であるが、会員各社で活躍している印刷に関する機械の稼働する様子を延々と見て聴く番組としてパイロット版を制作中である。

◎プロフェッショナルDTP & Web教室

- 1) 講師派遣・オーダー研修・貸し教室等
NPO法人キッズバレイ、ファンケルに講師派遣した。
- 2) Adobe CC更新：7月に契約満了のため、大塚商会とモリサワから見積りを取り、モリサワと契約することにした。
- 3) PC入れ替えについて：スクールのMacintoshが購入後5年経過し、映像講座での動作の遅さが目立つため、更新を検討した。「メモリ増設（16GB）、HDDではなくSSD希望」という条件で見積りを取ったところ、19万円/台と高額であったので、現PCの装備交換で見積りを取ったところ、7万9000円/台で済むので、今回はこれで対応する。

◎PODワーキンググループ会議

- 1) 活用事例を集めていくことにしているが、会員各社の事例を収集すると同時にPODメーカーも会議に参加してもらい協力を得る。参加企業4社（キャノンプロダクションプリンティングシステムズ(株)、コニカミノルタジャパン(株)、富士ゼロックス(株)、リコージャパン(株)）
- 2) ジャグラー会員の取材：ジャグラー会員を中心に菅野専門委員が取材を行った。アート印刷(株)（香川）8月25日、(有)一粒社（愛知）9月29日、(株)YCドキュメント（神奈川）11月1日。
- 3) ショールーム見学：10月13日に見学会を実施した。大塚商会主催のPOINT2017、コニカミノルタジャパン(株)のデジタルイメージングスクエア、富士ゼロックス(株)お客様価値創造センターの見学を行った。キャノンとリコーについては3月に実施予定。

◎ジャグラーコンテストの実施

ジャグラー会員企業オペレーターの実業向上を目的とし、コンテストで技能を競い合うことにより、自社オペレーターの相対的な技量を図れるようにと企画され、今年で開催3回目を迎えた。先頃、第2次審査が行われ、優勝者が決定した。

◎作品展

平成29年度ジャグラー作品展は、前年度のスケジュールを踏襲して実施する予定。ただし、行政より、賞の下付、後援等について新たな条件の提示があり、この解決が課題となっている。

●経営革新

◎2019年亥年年賀状デザインコンテスト

- 1) 賞金と表彰点数は前回同様で、応募部門はさらに検討する。
- 2) 応募資格を会員企業およびその紹介企業に絞っていたが、一般にも門戸を広げる。
- 3) 応募点数増加が見込めるため、応募専用サイトを構築する。

◎その他

- 1) 労務管理に関する事業：「製造業の就業規則の解説」など、労務管理に関する情報提供を検討している。
- 2) カードプリンターの情報収集：オンデマンドプリンターの中でもカードプリンターなど専門機能を持つプリンターについての情報収集および提供を行う。

◎CSR（BCP）

委員会実施について検討中。

●市場開拓・マーケティング

◎エコマートについて

一般社団法人エコマートとは、企業の請求書などの紙票のエコ（ペーパーレス化）を推奨する団体である。このエコマートが推奨する事業について、ジャグラーとして取り組むかどうか検討した。検討の際は、ジャグラーが法人として運営している部分の請求書を対象にするのか、会員が顧客企業との請求書を対象にするのか、で議論があったが、当面はジャグラーが法人として運営している部分を対象にする、との結論になり、ジャグラーの運営のことなので、運営基盤戦略会議または理事会に上程することになっている。

◎事業承継（M&A）について

前年度からの継続事業であるM&Aを含む事業承継については、まず事業承継の基本的な理解を深めてもらう必要があるということで、知識や経験のある方を招いて対談・座談会の形式で事業承継を解説し、機関誌やジャグラーBBに掲載した。

◎クラウドセミナー（グーグル・アマゾン）について

クラウドを利用したビジネス展開について、全国でのセミナー展開を企画・実施することにし、これまで、7月5日・東京地協、9月2日・関東地協/山梨、10月18日近畿地協、7月29日・中国&九州地協共催/福岡で開催した。

●環境

◎環境優良工場表彰

日産連が主催する、第16回印刷産業環境優良工場表彰の1次審査について、昨年と同数の16社の応募を集めた。審査の結果、石川特殊特急製本(株)（大阪）が環境優良工場奨励賞を

お知らせ

受賞した。

◎グリーンプリンティング認定制度の普及

- 1) 日印産連がガイドラインの見直しを実施した。前回の委員会で新ガイドラインをもとに「ジャグラ版 GP 取得の手順」を作成した。
- 2) 勝美印刷(株)、(株)文化ビジネスサービスが申請したため、現在、ジャグラの取得企業数は12社になる見込み(他団体も含め全体では379社)。
- 3) 日印産連ではグリーンプリンティング普及のため、「印刷と私」というエッセイコンテストを実施した。

◎環境委員会による企業訪問

2016年環境優良工場表彰奨励賞を受賞した(株)プリプレス・センター(北海道支部)を8月24日に訪問した。インタビューの様子はジャグラ BB および機関誌で紹介する。

→編集部注：本号で紹介しています

●個人情報保護

◎プライバシーマークの普及

ジャグラ会員におけるプライバシーマーク付与事業者会員数は、平成29年10月25日現在198社である。

◎個人情報保護の推進

5月30日に改正個人情報保護法が施行されたことから、機関誌5月号に「改正個人情報保護法への対応を!」、10月号で「個人情報漏えい事故の傾向と注意点」という記事を掲載し、情報提供を図った。

●SPACE-21

◎活動実績

- 4月22日 幹事会(東京・ジャグラ会館)
- 4月22日 総会・協力会社工場見学会(東京都・埼玉県)
- 7月5日 マーケティングセミナー(東京地協・東京都)
- 7月29日 マーケティングセミナー(中国&九州地協・福岡県)
- 8月26日 高知市でミニセミナー・交流会・幹事会
- 9月2日 マーケティングセミナー(関東地協・山梨県)
- 9月30日 幹事会(岐阜県)、全国協議会(岐阜県・愛青会)
- 10月18日 マーケティングセミナー(近畿地協・大阪府)

◎全国セミナーキャラバンへの協力

マーケティング委員会による全国セミナーにSPACE-21として運営協力しており、各地で青年部メンバーが多数参加した。7月5日東京地協、7月29日中国&九州地協(福岡県)、9月2日関東地協(山梨県)、10月18日近畿地協(大阪府)で実施済み。東海&北陸地協(石川県)、東北地協でも開催予定。

◎幹事会

今回は、4月(東京都)、8月(高知県)、9月(岐阜県)で実施済み。11月(東京)、2月(大阪府)も予定している。夏の幹事会については数年前より東京以外の地域で開催し、地元青年部と交流を図る目的もあり、今回は高知県で開催した。今年正式発足したSPACE-21高知のメンバーと交流を図った。次年度は熊本での開催が決定した。

◎総会

総会は、東グラ青年部FACEの企画により、協力会社の工場見学をベースにして、移動中のバス車中にてSPACE-21総会を行うという前例のない企画で開催した。見学会では、手帳の製本加工などを主に行っている青文堂様、箔押し加工を主に行っている斉藤商会様を訪問し、ご厚意により一般の見学会では見られないところまで見学することが出来た。

◎全国協議会

9月30日、岐阜県にある長良川温泉岐阜グランドホテルにて全国協議会を開催した。参加者は過去最大規模となる175名。テーマは「THE 交流 つながろう! 日本のド真ん中で」。交流の力で新たな価値を創造する企業を目指し、講演・ワークショップを通じてメンタリングを学び、懇親会・鶴飼見学を通じてコミュニケーションを図った。今回はジャグラの支部が無い岐阜県での開催となったが、愛青会及び愛知県支部のご尽力により、ジャグラだけでなく、全印工連からの参加者も多数あり団体を超えた交流が図られた。

◎PrintNext2018

来年2月10日、大阪府の大阪市中央公会堂にて「強い会社になる為に、そして企業を永く継続する為に。」をテーマに開催予定。佐藤元SPACE-21代表幹事が運営専務として尽力している。また、SPACE-21各青年部は、各ブロックの企画する事業に参加し、協力体制を敷いている。参加人数は400名を目標としている。

◎広報

青年部の活動をより知っていただくことを目的として「スペース21ニュース」を発行することにした。全国から青年部の活動記事を集め、事務局で取りまとめて制作。機関誌に同封して会員に配布する。第1号を機関誌10月号にて配布した。

以上

月刊
グラフィックサービス
No.792
2017
11



印刷テキストブック Part 2

印刷最新技術とトレンドを学ぶ

ジャグラ刊



本書は印刷ビジネスの基礎を学ぶ参考書である。

●**内容** デザイン・設計 / 広がる印刷 / 印刷の労働安全ほか / MIS と JDF / コンテンツの IT 化応用

●**仕様** A4 判、104 頁、本文 Bk (一部 4C)、並製本

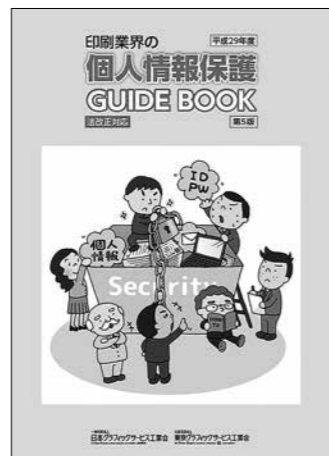
●**価格**
会員 1500 円 (税込・送料別)
一般 2000 円 (税込・送料別)

※昨年末に各支部宛に見本誌とまとめ買いのご案内をしましたが、お買い忘れの方、追加購入したい方のみご購入ください。

印刷業界の個人情報保護ガイドブック

第 5 版・法改正対応

ジャグラ刊



本年 5 月に大きく改正された個人情報保護法。本書は、法改正の要点、改正と同時に示される国のガイドラインの紹介をはじめ、安全管理処置において印刷会社にとって注意すべき項目を記し、他にサイバーセキュリティ、マイナンバー対応、関係法令、改正法全文掲載と企業経営と個人情報保護に資する内容となっています。

●**仕様** A4 判、98 頁、本文 2C / 表紙 4C、並製本

●**価格** 1700 円 (税・送料込)

印刷産業における環境関連法規集

2017 年版

日印産連刊



本書は、印刷に関わる全ての環境関連法規を取り上げ、その概要を分かりやすく解説。さらに工場立地、防災、労働安全等に関する法規の解説も加え、印刷産業に携わる皆様方が企業・環境活動を行ううえで、重要な資料として利用できます。また、保有設備や作業内容から簡単に該当する法令を引くことができる「法令逆引き表」も掲載。

●**仕様** A4 判、180 頁

●**価格** 1500 円 (税込・送料別)

※本書は日印産連からも購入できますがジャグラからの購入がお得です。

下記申込書にご記入のうえ、ジャグラ宛てファクスしてください。
請求書を同封してご送付しますので、指定口座にお振込みください。(振込手数料はご負担ください)

申込先 **Fax.03-3661-9006**

社名	所属
住所	〒
Tel	Fax
E-mail	
氏名	
購入書名	購入冊数
印刷テキストブック Part 2 ~印刷最新技術とトレンドを学ぶ	冊
印刷業界の個人情報保護ガイドブック~第 5 版・法改正対応	冊
印刷産業における環境関連法規集~ 2017 年版	冊

会員・賛助会員の製品情報・プレスリリースを中心に

9.28&10.5内覧会を開催 A全判オフセット枚葉印刷機リスロンG37

(株)小森コーポレーション

(株)小森コーポレーションは、9月28日と10月5日、山形の株小森マシナリーにおいて、パッケージ向けの新たなラインアップが登場した A 全判オフセット枚葉印刷機リスロン G37 の内覧会「KOMORI Packaging Solutions」を開催しました。

×

内覧会にはインド、インドネシア、タイ、フィリピンの東南アジア各国から 70 名が来場し、プレゼンテーション、工場見学、実演を通して KOMORI のパッケージソリューションを体感しました。

当日は、UV 搭載 A 全判 6 色オフセット印刷機リスロン G37 コーター付 (GL-637+C) により、①知覚品質テストチャート版、②医薬品パッケージを制作するというデモが行われました。コンパクトながら菊全判まで対応できるリスロン G37 は、リスロン G シリーズの A 全判機。今般 0.8mm までの紙厚に対応し、6 色・7 色・インラインコーターなどの構成で、コンパクトかつ最適なコストパフォーマンスを発揮するパッケージ戦略機としてのラインアップを拡大しました。

実演では、1 ジョブ目でテストチャートを、2 ジョブ目で紙厚 0.43mm のアルミ蒸着紙に 16 面付けの医薬品パッケージを印刷し、リスロン G37 の印刷精度と厚紙から薄紙への切り替え性能、そしてパッケージ印刷を効率化する各種装置が披露されました。



好評を博したリスロン G37 内覧会の様子



実演後は実機と工場見学の時間が設けられ、リスロン G37 のカバーを開放した UV ランプ構成や、同社にて製造している UV インクジェットデジタル印刷機インプレミア IS29 の実機に注目が集まるなど、内覧会は盛況のうちに終了しました。

あなたの会社を守る ジャグラ・グループ保険

特長 1 掛金が割安です (例: 30 歳男性、1 口 290 円 / 月)

特長 2 死亡時保障額は最高 1600 万円

特長 3 事故による入院もワイドに保障

特長 4 医師の診査はありません 告知のみでお申し込みいただけます

特長 5 掛金のお支払方法も簡単です

お問い合わせはジャグラ事務局・酒井まで

tel.03-3667-2271

需要創出

シリーズ：需要創出を考える④

印刷需要が低迷し、価格競争が激化する経営環境の中で、ジャグラ会員企業はどのようにして活路を見出そうとしているのかを探る「シリーズ 需要創出を考える」——第4回目の今日は平成28年度ジャグラ作品展の受賞企業の中から、神奈川県支部・株野毛印刷社さんの事例をご紹介します。

×

事例5 作品展 / 開発・開拓部門 ジャグラ会長賞

一般社団法人神奈川県トラック協会様向け

『災害発生時安全行動キット』

～自社オリジナル商品を特定の業種に向けて企画提案～

(株)野毛印刷社(神奈川県支部)

少しずつ薄れていく震災の記憶

2008年から販売し続けている当社オリジナル商品『大地震対応マニュアル』。これに続き、2015年に『災害発生時におけるドライバーズハンドブック』を発表しました。(写真下) 地震発生後の車の利用法や車からの離れ方、近年増えてきた水害時の車の利用法、数年に一度、必ずといっていいほど都心部で起きる大雪の際の車のトラブル回避法などが掲載されているこの冊子は、2013年に着想し、構想2年の月日を要しました。

私たちはシンプルに、「災害時の車の処置の仕方を知らないし教わってもいない。どうする事が最良なのか。少しでも身に付けてもらいたい」という観点で取り掛かった新たなコンテンツでしたが、そもそも公に公表されていない情報をどのようにまとめればいいのか、はじめから壁にぶつかりました。

各所公的機関に問い合わせ協力をお願いしましたが、良い回答をいただけないまま、いよいよどうしようかという状況に追い込まれました。最後の頼みの綱と思い、自動



左) 大地震対応マニュアル (92 × 57 ミリのポケットサイズ)
右) ドライバーズハンドブック (210 × 148 ミリ)

車産業に携わられているお客さまに、モータージャーナリスト3名を紹介してもらいました。そのうちの一人から「あなた達の質問に私は答えられない。だから協力しましょう!」との答えをいただいたのです。「よし!これで進む!」と思った瞬間でした。つまりこの商品は、あくまでもひとつの考え方で創ったコンテンツであり、各所の震災体験者の生の声を取材し、モータージャーナリスト監修のもとに創り上げた渾身の商品なのです。

業種に特化した商品にカスタマイズ

売り込みをした一般社団法人神奈川県トラック協会様総務企画委員会から、東日本大震災から5年を迎える2016年に「災害時、救援物資の運搬に関わる運送業のBCP啓蒙ツールとして提供したい」という意向を伺いました。

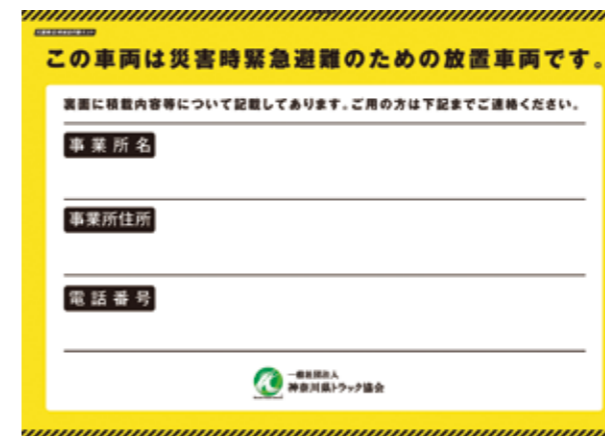
これまでもノベルティや、携帯ホイッスル付き大地震対応マニュアル [個人向け]、防災グッズとセットにしたパッケージを企画してきましたが、今回は特定の業種向けに企画プレゼンするという初の試み。

まず取り掛かったのは、いざ災害が発生したときに、トラックドライバーがどのような安全行動をとればよいのかというコンテンツの企画。地震だけでなく、津波・水害・雪害時の適切な対処法を分かりやすく編集し、『災害発生時におけるドライバーズハンドブック』と『災害時ドライバーズマニュアル』のふたつのツールを提案しました。

『災害発生時におけるドライバーズハンドブック』は日常から知識共有の教材として利用する冊子。一方『災害時ドライバーズマニュアル』は常に携帯、または手に届くと



「災害発生時安全行動キット」一式



緊急避難時放置車輛周知カード

ころに置いてもらうツールとして編集。このマニュアルの一番の工夫は、災害時に車輛を乗り捨てて避難しなければならない場合、所有者情報を記載してトラックのダッシュボードに掲示する「緊急避難時放置車輛周知カード」を掲載したことです。

常に身近に備えてもらうための工夫

「マニュアルがあっても車の中でどこかに紛れて、いざという時に使えない。」「支給されても、全く使われずに埋もれてしまっは意味がない。」という点が懸念されました。

そこで当社から、

- ①マニュアルを車内に常備してもらうための「常備用サンバイザークリップ」をセットに入れる。
- ②セット組みするパッケージデザインを、できる限り目立ち、緊急性のあるデザインにする。
- ③「災害発生時安全行動キット」としてパッケージ化する。という工夫を施しました。

「サンバイザークリップ」は本来、サングラスを引っ掛けて保管するための商品で、クリップの部分をサンバイザーに挟んで固定します。その「サンバイザークリップ」の表面に「サンバイザー裏面を確認!」と印字し、マニュアルはサンバイザーの裏面に挟んで保管する方法を提案し



左) クリップ以外のマニュアル類は袋に入れてパッケージ化した

下) クリップはミニカー風の箱に入れた



クリップを使ってマニュアルをサンバイザー裏面にセットする



ました。ドライバーの方は、駐車券などのカード類やサングラスの保管場所として常日頃から「サンバイザー」を利用しています。そこを「マニュアルの保管場所」にすることで、絶えず意識してもらい、いざという時にもすぐにマニュアルを手にすることができるのです。

そしてその「サンバイザークリップ」を入れるケースにもデザインで工夫を凝らしました。イメージはミニカーの箱。開封率を上げるために「これ何だろう?」と思わせるパッケージデザインにしました。

キットのパッケージデザインは、緊急性を示す「黄色」と「黒」のデザイン。提供されたときの開封率を上げ、しっかり使っていただくためのデザインを施しています。

これからもモノづくりを突き詰めていく

現在私たちは「伝えるの最上級へ」をスローガンに、紙媒体を中心としながらモバイル端末も視野に入れ、動画やWebなどのクロスメディアの提案に舵をきっています。BtoBが中心である私たちは常に、コンシューマーである「お客さまのお客さま」へどのような情報を、どのような手段で、どのようにお届けすると最良かを、時代に合わせた視点で提案し、市場に変化をもたらすことを考えていきます。(寄稿：同社 / 田中浩様)

予告 現在、鋭意制作中!

『エジソンを超えて』

～ジャグラのルーツ、謄写印刷を紹介するガイドブック～

ジャグラのルーツである謄写印刷は、複製技術としてはだいぶ昔に廃れたため、創業から2～3代目となる現在のジャグラ会員諸氏だけでなく、他団体の同業者、一般の方々にとっても余り近いものとは言えません。

しかし歴史を辿ってみると、私たちの先達は工夫と努力を重ねて、この技術を「謄写印刷～軽印刷～グラフィックサービス業」という一大産業にまで成長させ、それをベースとして今の私たちがあることも事実です。ジャグラをこ

れからも発展させていくためには、自分たちのアイデンティティである謄写印刷に学ぶことも多いわけですが、これまでそれを詳説したものは30周年史などの年史に頼る他なく、何かと不便であったことから、今年度、予算を確保し、16頁の小冊子を制作しているところです。下図写真はほぼ完成形に近いものですが、近日中に会員の皆様にお届けできるまでに進捗しています。完成まで今しばらくお待ちください。



ジャグラ

10.1 運営基盤戦略会議ひらく

SPACE-21全国協議会岐阜大会にあわせて

運営基盤戦略会議が、SPACE-21の全国協議会・岐阜大会（9月30日）に合わせて、翌10月1日、現地にて会議を開催しました。

×

同会議は中村会長になってからジャグラ運営の基本的な部分を検討するために設置したもので、正副会長・地協会長のほか青年部代表等のメンバーで構成され、年3～4回の開催を予定しています。

平成29年度第2回目となる今回の会議では、11月に開催するジャグラ全国協議会の内容について検討しました。

全国協議会については、これまでジャグラの事業報告を中心にプログラムが組まれていましたが、今回は「参加者が発言できる場」になるよう、テーブルディスカッションの形式を変更することにしました。具体的には会議に出席する支部長等にアンケートを取り、会員が抱える問題や課題について、テーブルごとにテーマを設定して、希望のテーブルに参加するというもの。従来はディスカッション後にグループ発表をしていましたが、今回は発表の時間を取らず、紙に書いて報告してもらうことにし、翌日、参加者に配布して、前会長の吉岡理事に総評してもらうかたちとなります。また、その他のプログラムとして事例発表を加え、各社の参考にしてもらうことになりました。

その他、会議では、組織拡大、交通費の課題、今年発足したマスターズクラブについて検討・報告がありました。

行政情報

11月は下請け取引適正化推進月間です

公正取引委員会・中小企業庁

公正取引委員会と中小企業庁は合同で、11月を取引適正化推進月間として取り組んでいます。今年のテーマは「取引条件 相互に築く 未来と信頼」です。ジャグラ会員は、親事業者にも下請事業者にもなりうる立場の方が多くい



らっしゃいますので、十分ご注意ください。

×

●「下請代金支払遅延等防止法」の規制内容

◎親事業者の義務

取引条件等を記載した注文書の交付、下請取引に関する事項を記載した書類の作成と保存、下請代金の支払い期日を定めること、遅延利息の支払い。

◎親事業者の禁止行為

受領拒否、下請代金の支払遅延、下請代金の減額、返品、買いたたき、物の購入強制・役務の利用強制、報復措置、有償支給原材料等の対価の早期決済、割引困難な手形の交付、不当な経済上の利益の提供要請、不当な給付内容の変更・やり直し。

●「下請中小企業振興法」の振興基準

下請事業者の生産性の向上 / 品質・性能の改善、発注内容の明確化 / 発注方法の改善、下請事業者の施設・設備の導入 / 技術の向上、事業の共同化、下請取引に係る紛争の解決の促進、対価の決定方法 / 納品の検査の方法その他の取引条件の改善、下請事業者の連携の推進、下請事業者の自主的な事業の運営の推進、その他下請中小企業の振興のため必要な事項（下請ガイドラインや自主行動計画に基づく業種特性に応じた取組み、知的財産の取扱いについて等）

月刊「グラフィックサービス」792号

■発行日 平成29年11月10日(毎月1回)
 ■発行人 中村 耀
 ■編集人 早坂 淳
 ■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
 TEL 03-3667-2271
 FAX 03-3661-9006
 WEB <https://www.jagra.or.jp/>

ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎原稿/編集/校正
 沖 敬三 守田 輝夫 長島 安雄
 酒井 玲子 並木 清乃 阿部奈津子
 今田 豪 (以上、ジャグラ事務局)
 斎藤 成 (東京グラフィックス/広報委員)
 藤尾 泰一 (㈱インフォ・ディー/広報委員)
 日経印刷(株) (校正のみ)

◎組版/デザイン (㈱インフォ・ディー)

組版 = Adobe CS6/CC
 フォント = モリサワ OTF ほか

◎印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow
 CTP = 富士フイルム XP-1310R 東レ TWL-1160F
 刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
 印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
 ハイデルベルグ社 SORD
 インキ = DIC
 用紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg
 ※本誌はFSC森林認証紙(管理された森林の木から作られた紙)とベジタブルインキ(環境配慮型インキ)を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
<https://www.nik-prt.co.jp/>



Copyright 2017 JaGra / 禁無断引用
 ※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
 また、原則 TM・®マークは省略しています
 ※乱丁/落丁本はお取り替えいたします

ジャグラ スケジュール表

2017.10	
1日	運営基盤戦略会議(岐阜グランドホテル)
5日	プライバシーマーク現地審査(神奈川)、ジャグラコンテスト専門委員会
6日	プライバシーマーク審査員新JIS説明会(日印産連)
7日	日本自費出版文化賞表彰式(アルカディア市ヶ谷)→中村会長・沖専務ほか
10日	プライバシーマーク現地審査(秋田)
11日	プライバシーマーク現地審査(秋田)
13日	POD部会見学会(都内~神奈川)
14日	ジャグラコンテスト第二次審査
18日	日印産連ステアリングコミッティ→中村会長、小森会→沖専務、マーケティング委員会+マーケティングセミナー(大阪・JPビル)
19日	広報委員会、日印産連専務理事連絡会議→沖専務
20日	プライバシーマーク現地審査(長野)
25日	プライバシーマーク審査会、東グラ理事会→沖専務、日印産連知的財産部会→増田理事
26日	印刷図書館70周年記念誌出版パーティ(如水会館)→中村会長、JAGAT理事会・大会(椿山荘)
27日	プライバシーマーク現地審査(新潟)、プライバシーマーク現地審査(都内)
28日	九州地協幹事会(福岡)
2017.11	
2日	プライバシーマーク現地審査(広島)
6日	プライバシーマーク現地審査(北海道)
7日	日印機協総会(如水会館)→中村会長・沖専務ほか
10日	理事会(東京ドームホテル)、全国協議会(東京ドームホテル)
11日	全国協議会(日本教育会館)、役員推薦委員会(日本教育会館)、SPACE-21 幹事会
14日	プライバシーマーク現地審査(愛知)、東グラ理事会
15日	日印産連価値創出委員会→沖専務
16日	プライバシーマーク現地審査(栃木)
21日	プライバシーマーク現地審査(長野)、広報委員会
22日	近畿地協総会(兵庫)→中村会長、沖専務、兵庫県支部65周年記念(兵庫)→中村会長・沖専務
24日	環境委員会
27日	プライバシーマーク現地審査(大阪)
28日	プライバシーマーク現地審査(大阪)、日印産連知的財産部会→増田理事
2017.12	
1日	POD部会、ジャグラコンテスト会議、教育・技術委員会
6日	マーケティング委員会
7日	経営革新委員会
13日	Pマーク審査会、日印産連ステアリングコミッティ→中村会長
14日	日印産連専務理事連絡会議→沖専務
21日	日印産連知的財産部会→増田理事

編集後記

今月から本誌冒頭の目次ページにおいて、「なかむら通信」と題した中村会長からジャグリストの皆様に向けてのメッセージコーナーを設けることになりました。これは「強いジャグラ実現のため、自分の想いを毎月伝えたい」と、会長より編集部に対して、かねてからご要望いただいていた企画です。また会長は、読者の皆様からの要望や意見もどんどん募って掲載すべきともお考えです。どうぞ読者の皆様におかれましては、お気軽に編集部(edit@jagra.or.jp)まで、ニュース提供、ご要望・ご意見をお寄せいただきたくお願い申し上げます。(Y.F)



今月のおすすめ番組

最新情報はWebでチェック! <https://www.jagrabb.net>



ジャグラ文化典岩手大会講演「震災体験と復興の軌跡」

2017年6月に開催されたジャグラ文化典岩手大会において、東日本大震災で被災された(株)大船渡印刷・熊谷雅也社長にご講演いただきました。ジャグラBBではその模様をノーカットでお届けします。(時間:54分/無料配信)



【シリーズ】ワザコレ! No.3 投稿者:㈱原田シール印刷所

「ワザコレ!」は「技」をテーマにジャグラ会員から投稿映像を集め、ジャグラBBで配信・共有することで、作業効率アップを目指すプロジェクトです。今回は三多摩支部の(株)原田シール印刷所からの映像をお届けします。(時間:2分/無料配信)



【シリーズ】事業承継対談 Vol.6 ㈱トライス岸徹社長/㈱ウイング松下忠社長

マーケティング委員会「事業承継研究事業」による対談シリーズ第6弾。今回はジャグラ会員のトライス岸社長、ウイング松下社長をお招きし、自身の会社の事業承継事情についてお話を伺いました。(時間:36分/会員限定番組)



映像で学ぶ印刷のすべて【基礎編】【各論】(全38巻)

新入社員から中堅社員までを対象に、映像で印刷業界のすべてがわかる「印刷大全」。1番組あたり15分から30分程度の内容にまとめているので、必要な部分だけを抜き出して見ることができます。(時間:各巻15~30分/会員限定番組)



【シリーズ】知らないと損をするWordの仕事術 No.01~02

オフィスワークに欠かせない文書作成ソフトWordについて、仕事の効率アップにつながるワンランク上のテクニックを紹介する新シリーズが登場! 影山史枝講師がトピックごとにわかりやすく解説します。(時間:各巻5分/会員限定番組)



【シリーズ】知らないと損をするExcelの仕事術 No.01~10

DTPソフトは使いこなしているけれど、Excelは基本機能しか知らない...そんなDTPオペレーター必見の新番組が登場! 仕事で使えるExcelテクニックを影山史枝講師が伝授します。(時間:各巻2~10分/会員限定番組)

ワザコレ! 動画募集のご案内

ジャグラBBでは「ワザコレ!」シリーズで配信する投稿映像を募集しています。みなさんの会社のノウハウを動画で紹介してみませんか? 採用された方には1000円相当の商品券を進呈します。ふるってご応募くださいませ。

ワザコレ! 動画応募方法

簡単な内容説明、動画の長さ(撮影編集済の場合)をご記入の上、ジャグラBB企画部会までメールでご連絡ください。追って担当者よりご連絡します。応募先メールアドレス:jagrabb@jagra.or.jp

スマホで撮影した動画も受け付けます!



ジャグラBB 新規ID登録がお済みでない方は、下記よりお手続きください https://www.jagrabb.net/app_mail.php



月刊
グラフィックサービス
No.792
2017
11